

不適合情報

2018年7月27日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-np/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件**2. G II グレード 2件**

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	2号機	荒浜側焼却設備高電導度廃液排水槽ピット漏えい検出器の点検において、当日の作業実施計画承認書発行前に排水槽ピット漏えい検出スイッチの点検を行ったことを確認した。当該事象の原因を調査。	GⅢ以下
2	4号機	原子炉補機冷却海水系ストレナ(E)入口弁の点検時、弁開閉位置検出スイッチの充電部にマイナスドライバを接触させ、原子炉補機冷却海水系ストレナ(A)系交流制御電源の喪失を示す警報の発生を確認した。当該事象の原因を調査。	GⅢ以下

3. GⅢグレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	5号機	タービン建屋4階(管理区域)換気空調補機常用冷却水系冷凍機室の換気空調補機常用冷却水系配管に腐食および結露水の発生を確認した。当該配管を点検・修理および保温材を取付け。	
2	6号機	ダスト放射線モニタに異常を示す警報が発生し、ダスト放射線モニタのチャンネル(A)～(E)の停止を確認した。復旧処置を行いチャンネル(B)～(E)は復旧したが、チャンネル(A)が復旧しなかった。当該モニタのチャンネル(A)を点検・修理。なお、当該モニタの代替測定を実施。	